MAD
MAKING ART DIFFERENT

＼Making Art Different = アートを変えよう、違った角度で見てみよう／

現代アートの教育プログラム "MAD"（マッド） 2016年度プログラム

受講資格は " アートへの関心 " だけ！
アートのプロが、現代アートをもっと知りたいあなたの学びをサポートします。

NPO 法人 AIT が 2001 年に開講した現代アートの教育プログラム MAD（マッド）では、
アートに関心のあるすべての方にむけた学びの場を提供しています。作品の背景にあるアーティストの考えや社会との関係を知ることで、その魅力は無限に広がります。
レクチャーとディスカッションで構成される MAD での学びを通して、アートの歴史や文脈、そしていまの時代や社会を投影する作品や考えをより深く知ることで、自分の想像力が押し広げられ、能動的に考える楽しみを手にしてみませんか？
修了後はアートと語り合える仲間を得て、さらにアートに夢中になること間違いありません。

MAD の特徴

1. アート界の**第一線で活動するディレクターとゲスト**がリード
2. **はじめて現代アートに触れる人から専門的に学びたい人**まで、熱意があるほど学びが広がる
3. レクチャーやディスカッションだけでなく**展覧会へ足を運び**、実際に学び、**経験できる**
4. これまで **2,000 人以上**が受講し、多くの修了生がアート界で活躍中

レクチャー風景　Photo by Yukiko Koshima

展覧会訪問の様子 ハラミュージアムアーク（群馬県）

受講生

受講生の内訳：**社会人 80%　学生 10%　その他 10%**

年齢層：**19 ～ 82 才**（20 代後半から 40 代前半多数）

受講生の職業：製造、金融、出版、シンクタンク、広告、建築、
デザイン、アート関連、服飾、ほか
学生：美術系大学、一般大学（公立、私立）、専門学校ほか

修了生の活動先

美術館やギャラリー、プロジェクトなど多数

東京都現代美術館、森美術館、三菱一号館美術館、女子美術大学美術館、せんだいメディアテーク、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、21 21 デザインサイト、国際交流基金、東京文化発信プロジェクト室、BankART1929、アートフェア東京、SCAI THE BATHHOUSE、オオタファインアーツ、ARATANIURANO、ユカ・ツルノギャラリー、青山｜目黒、レントゲンヴェルケ、日本経済新聞社、朝日新聞出版、Tokyo Art Beat、CAMP、トーキョーワンダーサイト、クリスティーズ、α M ギャラリー、8/ART GALLERY/ TOMIO KOYAMA GALLERY、ほか多数（順不同）

修了生の留学先

海外への留学前にもおすすめ

Goldsmiths College, University of London, Edinburgh College of Art, Chelsea College of Art and Design, Royal College of Art, Sotheby's（イギリス）,
Columbia University, Harvard University, California College of Art（アメリカ）,
Ecole des Beaux-Art（フランス）ほか（順不同）

NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT ／エイト] とは
現代アートを考えるさまざまな「場」をつくるため、2001 年に設立した NPO。アーティストやキュレーター、美術館 やキャラリーのほか、企業、財団、行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、アートについて話し合う場をさまざまなプログラムを通じて創り出しています。http://www.a-i-t.net

ディレクターズメッセージ

開講 16 年目、MAD プログラムのリニューアルにあたって
「つくること／アート／同じでないこと」

今から 16 年前の 2000 年、わたしたちは AIT を立ち上げ、それと同時に MAD という現代アートの学校を開講しました。「MAD」は、Making Art Different の頭文字をとったものです。この三つの言葉「Making/ つくること」「Art/ アート」「Different/ 同じでないこと」は、設立したての AIT にとって重要な意味をもつと信じ、名付けたことをよく覚えています。

学校をスタートしたばかりの 2000 年頃、わたしたちは、現代アートをめぐるディスコースとディスカッションの場を作ることに力を注いでいました。当時、オクウェイ・エンヴェゾーがドクメンタ 11 で「プラットフォーム」という言葉を使っていたように、人々がアートについて語り、議論する空間や時間が東京には必要だと考えていたからです。いろいろな人の異なる意見を混ぜ合わせ、アートを巡る議論を深めていくことで、これからのアートが生まれる場、あるいは未知を発見する場を創りたいという想いがありました。

そして、いま、アート情報がメディアに溢れ、誰もが簡単にそこへアクセスでき、同じ興味をもつ人同士がつながるようになると、そうした場をめぐる風景も大きく変わってきました。多くの人がアートに関心を持つ一方、均質化・単純化あるいはパッケージ化された情報が、ときにアートの本来もつ異質さ、美的さ、重層さ、複雑さを失ったまま、スクリーンを流れていきます。アートの歴史やキュレーションを研究する一人として、今まさに、アートの「細部」にまで思考を巡らすこと、深く見て考え、アートを味わい尽くす場が重要だと考えています。

そこで、今年の新生 MAD では、アートがもつ豊穣な歴史や文脈、異分野・異時代との結びつきを丁寧に眺め、グループでの意見交換を通じて、「アート」の裏側に広がる果てしない思考の旅に出てみたいと考えています。アートを常に新しい視点でとらえることは、それ自体を豊かにすることであり、言い換えれば、アートを「同じもの」であることから解き放つことでもあります。MAD は、アートへの深い尊敬とともに、アートがもたらす知の探求をより多くの人と一緒に分かち合っていく場を、これからも創っていきます。

ロジャー・マクドナルド（MAD プログラム・ディレクター）

訳　塩見有子（AIT ディレクター）

MAD2016 のここが新しい！

MAD2016のここが新しい!

革新的なプログラム
「コース」では、全く新しい切り口で考える近・現代美術史から最新のアートシーンまでを、多彩な講師陣がレクチャーします。

想像力に限界はない！
「サークル」では、アートだけでなく映像や音楽を扱う回も。ドリンクを楽しみながら気軽に参加できます。

グローバルな学び
「MAD World」では、国際的に活躍する専門家から直接学べるほか、Hong Kong Art School との初提携も。

レクチャールームをリニューアル
デザイン事務所・POINTによるオーダーメイドのモジュール式家具で変幻自在の空間に！

1971 年生まれ。イギリスのケント大学にて宗教学修士課程修了後、美術理論にて博士号を取得。1998 年より、インディペンデント・キュレーターとして、国内外で数々の小規模な展覧会を企画。2006 年の第一回「シンガポール・ビエンナーレ 2006」では、キュレーターとして活動。2010 年に家族と長野県佐久市に移住し、2013 年に個人美術館フェンバーガーハウスをオープン、館長を務める。興味は美術史、絵画、編成意識状態、オーディオ鑑賞、チャツネ、山。自称、インディペンデント研究者。AIT 副ディレクター。

開講プログラム一覧

少人数でしっかり学べる「コース」【月】【火】19:00-21:00（展覧会訪問など除く）

仲間と体系的に学びたい方におすすめ。4 つのテーマから選んで受講していただけます。
コース受講生は「サークル」11 回も受講することができるので、とてもお得です！
講師：ロジャー・マクドナルド、塩見有子、帆足亜紀、アンドリュー・マークル、杉田敦、毛利悠子、小山登美夫、南條史生

『ペア・ルック』～28 人のアーティストから新たな美術史を紡ぎだす NEW
19 世紀後半から今日までのアーティスト 14 組の作品と人生を紐解き、現代アートを支える近代美術を丁寧に眺めながら、教科書では学べない美術史を廻ります。プログラム・ディレクターとの展覧会訪問も！

『キュレーショニズム』～キュレーションの一歩先を考える～ NEW
近年のコンテンツ重視の経済活動の中で、アートがどのように伝達され、解釈されてきたかを考察します。展覧会づくりの歴史はもちろん、小さな美術館の先駆的な事例や物語づくりの可能性も探ります。プログラム･ディレクターの個人美術館訪問も（長野）！

『アート・シーンズ』～傑作は生まれるもの？つくられるもの？～ NEW
アート界をスクール、スタジオ、ギャラリー、国際展、美術雑誌、芸術賞の 6 つの構成要素に分け、講師陣とともにそれぞれの成り立ちから最新の動きまで、舞台裏からその全貌を考察します。講師との展覧会訪問も！

『ディスコースのラボ』～アートを自分の言葉に落とし込む～
2014 年から続く人気コース。過密なグローバル社会の中でアートの言説（ディスコース）はどのようなかたちでなり得るのか。その背景を考察しながらアートの批評や論考の可能性と課題を探ります。各期の最後には課題文の小冊子を作ります。

多様な表現が交わる社交場「サークル」【水】19:00-21:00 NEW

5 つのカテゴリーに分類される入門的な全 22 トピックからお好きな講座を受講可能！
チケットは最小 3 回（ご友人やご家族とシェア可）からなので、気軽にアートの学びをはじめることができます。
講師：塩見有子、ロジャー・マクドナルド、柳下朋子、フランシス真吾、青山秀樹、磯部涼、保坂健二朗、アンドリュー・マークル

『スタート・シリーズ』～まずはここから。現代アート超入門～	全 6 レクチャー
『ニュース・ナイト』～最新のアート・ニュースやレビューから世界のアート動向をつかむ～	全 4 レクチャー
『フィルム＆ミュージック・クラブ』～選び抜かれた映像や音楽をテーマに語り合う～	全 4 レクチャー
『エキセントリック・ナレッジ』～神秘的な概念や歴史に埋もれた知を発掘する～	全 4 レクチャー
『English Jam』～英語でダイレクトにアートの話題に触れる～	全 4 レクチャー

世界とつながる集中講座「MAD World」NEW

AIT が注目する国内外の専門家による短期集中講座。他では聞くことができない、彼らの活動や関心の核にある知に触れることができます。レクチャーやワークショップ形式で行われます。
また、2000 年に香港のアーティスト集団が設立したオルタナティブな学びの場 Hong Kong Art School と提携しプログラム開発を行います。2016 年 3 月には、森美術館館長の南條史生氏と AIT のロジャー・マクドナルドが香港にてレクチャー・シリーズを開催します。
スケジュール（予定）｜2016 年 5 月･中森康文（ヒューストン美術館キュレーター）､6 月･近藤健一（森美術館キュレーター）9 月･森弘治（美術家）、11 月・キース・ウィトル（ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ リサーチ・フェロー／フリーランス・キュレーター）

オンラインで無料で学べる「FREE MAD」

1900 年から 2003 年の美術史約 100 年分をテーマごとに配信しています。少しずつ、現代アートを眺めてみたい方や MAD に通う時間が取れない方におすすめです。

MAD
MAKING ART DIFFERENT

＼Making Art Different = アートを変えよう、違った角度で見てみよう／

現代アートの教育プログラム "MAD"（マッド） 2016年度プログラム

受講料

受講料　1 コース（各期）

「コース」指定のレクチャーに加え、「サークル」のレクチャーも先着順にて受講できます。

コース名	コース レクチャー数	サークル レクチャー数	受講料（税別）	定員
ペア・ルック	8回 展覧会訪問含む	11回	¥88,500	15名
キュレーショニズム	8回 個人美術館 訪問含む	11回	¥99,000 個人美術館 訪問費込	15名
アート・シーンズ	7回 展覧会訪問含む	11回	¥83,000	15名
ディスコースのラボ	6回 小冊子作成含む	11回	¥81,500 小冊子制作費込	12名

○開講期間:前期4-7月、後期9-12月 ○前期・後期の通年受講をおすすめします 一期のみのお申し込みも可
○欠席した場合、ビデオ視聴での補講可（予約制／日時指定有） ○全コースドリンク付

2 サークル（チケット制）

「サークル」の22レクチャーから、好きなものだけを選んで受講できます。2種のチケットからお選びください。（販売数に上限有）

回数	受講料（税別）
3回	¥12,000
6回	¥23,000

○開講期間および有効期限:4月〜12月まで
○「コース」は受講できません
○チケットは、お知り合いの方とシェアできます
○欠席した場合のビデオ視聴不可
○全サークルドリンク付（一部有料）

3 MAD World

詳細はMAD HPにて順次発表します。

お申込方法　お申し込みは、2016年1月下旬から受け付けいたします。詳細は、MAD2016のHPをご覧ください。
原則として、受講料のお振り込み後の申込内容の変更、キャンセルおよびご返金は受け付けておりません。予めご了承ください。

お申込締切　コース:2016年4月4日（前期開講分）、8月22日（後期開講分）
サークル:2016年12月まで随時（手続きの都合上、ご希望の回の10日前までにお申し込みください）

○消費税率は8%となります（2015年12月現在） ○展覧会の入場料は、受講料に含まれません
○掲載情報は、2015年12月現在のものです。プログラムの内容やスケジュール、講師は変更される場合がありますが必ず事前に告知します

無料体験レクチャーとお得な割引　受講をご検討の方を対象に2月22日と3月14日に無料体験レクチャーを行います。
また、3月7日までお得な受講料の早割・同時割（5〜10%引き）もございます。

レクチャー風景 Photo: Yukiko Koshima

展覧会訪問の様子 クレマチスの丘
ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡県）

アクセス・お問い合わせ

お問い合わせ
NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ［AIT／エイト］
〒150-0033
東京都渋谷区猿楽町30-8 ツインビル代官山 B-403
Tel: 03-5489-7277　Fax: 03-3780-0266
E-Mail: mad@a-i-t.net

NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT ／エイト] とは
現代アートを考えるさまざまな「場」をつくるため、2001 年に設立した NPO。アーティストやキュレーター、美術館 やキャラリーのほか、企業、財団、行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、アートについて話し合う場をさまざまなプログラムを通じて創り出しています。http://www.a-i-t.net